



日本共産党 京都市議員
ひぐち英明
議会報告

みなさんのご意見・ご要望をお寄せください!

こんにちは ひぐち英明です

第416号 2022年5月3日 連絡先：日本共産党左京地区委員会 Tel761-6341
：左京生活相談所 Tel781-6622

HP:

共産党市議団が予算組換えの積極提案 今こそ、いのち・くらし・生業の支援を



5%減税などを求めて行われた重税反対統一行動

新年度が始まり、すでに1カ月以上が経ちました。物価高騰が生活を圧迫していますが、加えて、京都市のあらゆる分野での市民負担増が始まっています。

予算議会では、共産党京都市議団は、今こそ自治体本来の役割を発揮するよう求める予算の組替えを提案しました。

53億円に及ぶ市民への痛み押し付けをやめること

1点目は、53億円に及ぶ市民負担増をやめること。市民生活がいっそう厳しくなっている時に、敬老乗車証の値上げ、保育園への補助金カット、国民健康保険料や学童保育料の値上げ、あらゆる施設の使用料の値上げなど、許せるはずがありません。当初の予定よりも200億円増えている収入増分を活用すれば、負担増や補助金カットは必要ありません。

大企業への課税強化などで財源を確保し暮らしと生業の支援を

2点目は、財源の確保と暮らしの支援についてです。市長の言う「財政が破たんする」という話は、市民を脅すために使われている、事実にもとづかない誇大宣伝ですが、財政が以前よりも厳しくなっていることは事実です。これは、過去の大型事業の借金の返済が増えていることと、国が地方への財政支出を削減してきているためです。これらを改善するために、国に方針転換を求めるとともに、市独自にも大企業への課税強化などを求め、財源を確保することと、暮らしと生業への支援の強化を提案。

2022年度 京都市予算案の組替え提案 (抜粋)

- 200億円の収入増を活用し、少なくとも22年度予算案に示している53億円の負担増をやめること
- 「行財政改革計画」を撤回し、以下のことに取り組むこと
 - 北陸新幹線や堀川地下バイパストンネル計画など、ムダな大型事業推進方針を撤回すること
 - 大企業への累進課税を強化すること
 - コロナ対策の充実、中小企業への支援の強化、子育て支援の充実など暮らしの支援を強化すること

働く人の要求実現へ 3年ぶりのメーデー



コロナ禍で2年連続で中止になっていたメーデー。今年は、雨の降る中、3年ぶりに開催されました。働く人の要求実現、ロシアのウクライナ侵略への抗議、憲法守れなど、さまざまな要求を掲げて行進。

写真トピックス

4・19左京みんなのデモ→



←医療や介護の拡充と消費税5%への減税を求めて訴え

○ ひぐち英明 ホット・コム ミニ版 ○

長女が4月に就職しました。長野の大学に行っていましたから、4年前からすでに家にはいなかったのですが、学費や生活費などの負担があったこともあり、なんとなく親の手元にいるような気がしていました。

働き始めて、子どもが自立したのですから、それは嬉しいことなのですが、なんとなく寂しい気持ちも湧いてきます。子どもは親とは別人格ということを知っているつもりですが、気持ちの部分ではあいまいなところがあるようです。

子どもと一人の人間として向き合うようになることと、家族であるということが、私のなかで十分にこなれる時がきたら、どんなふうになるのか。まだ未知の世界です。